

平成28年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

⑦課題:道東の早生小豆栽培地域における生産安定性の向上

代表者:北海道立総合研究機構 北見農業試験場 主査(畑作園芸) 萩原誠司

目的

気象条件が厳しいオホーツク地域や、十勝中部において秋まき小麦の前作物として小豆が栽培できるよう、小豆早生品種の安定多収栽培法を確立する。

成果

①オホーツク地域での早生品種安定栽培

- ・オホーツク地域では、早生で土壌病害に強い新品種「ちはやひめ」は、密植により低収傾向を補完できる可能性が示唆された。
- ・オホーツク地域における実証試験(現地慣行)では、新品種「ちはやひめ」の成熟期、収量は「サホロショウズ」と比較し大きな差はなかった。

②十勝地域中央部での早生品種安定栽培

- ・十勝中央部では、新品種「ちはやひめ」の成熟期は、「きたろまん」より5～6日早かった。また、2品種とも密植で成熟期が1～2日早くなった。最も成熟が早かったのは、「ちはやひめ」の25,000本/10a程度の密植栽培であった。

オホーツク地域における栽培試験の成績(抜粋)

実施圃場	品種名	処理		成熟期	生育日数	倒伏程度	主茎長(cm)	主茎節数	分枝数(/m ²)	着莢数	子実重(Kg/10a)	標植対比(%)	百粒重(g)	屑粒率(%)	
		栽植密度(本/10a)	播種期(月・日)												
北見農試	ちはやひめ	16,667		9.19	123	0.2	64	12.3	12	413	298	100	15.0	6.5	
		22,222		9.19	123	0.3	64	11.7	11	455	310	104	15.4	5.7	
		25,063		9.20	124	0.3	62	11.4	9	464	316	106	15.2	6.8	
		33,333		9.20	124	0.3	60	10.6	4	486	299	100	15.5	6.2	
	きたろまん	16,667	5.19	9.26	130	0.8	69	12.4	19	404	311	100	16.1	7.1	
		22,222		9.24	128	0.5	68	11.8	10	440	303	97	16.0	6.3	
		25,063		9.25	129	1.0	67	11.8	15	437	303	97	15.9	6.0	
		33,333		9.25	129	0.8	60	10.5	7	436	309	99	16.3	4.3	
		サホロショウズ			9.26	130	1.5	75	13.5	28	414	300	100	14.9	9.0

注1) 生育日数: 播種から成熟までの日数。

注2) 倒伏程度: 0(無)、0.5(微)、1(少)、2(中)、3(多)、4(甚)の6段階評価。